

6. 精神障害者生活状況調査（通院患者）結果

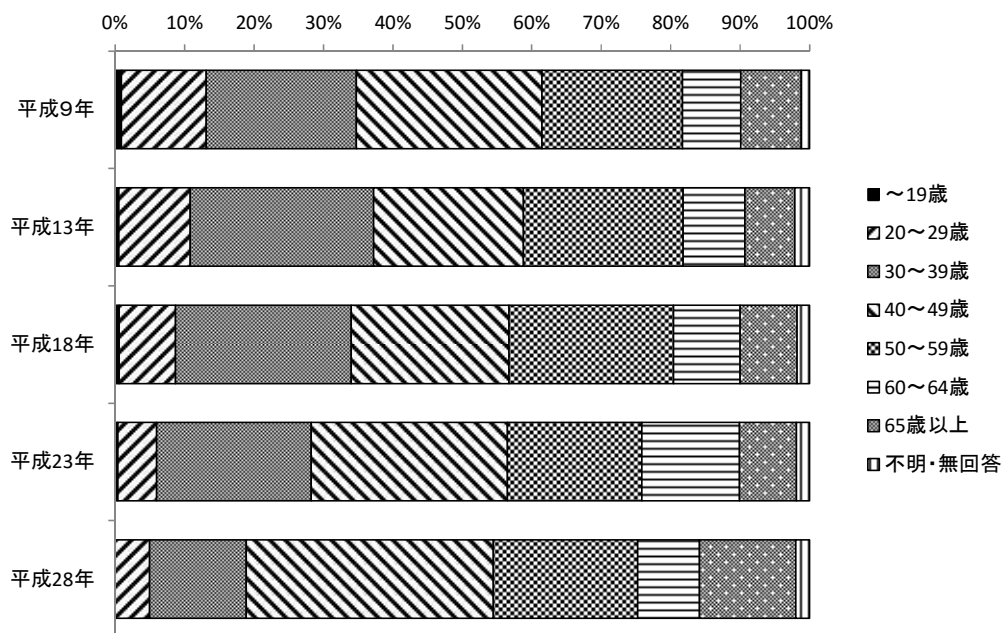
●年齢

年齢構成は、「40～49歳」が35.6%と最も多く、次いで、「50～59歳」が20.8%、「30～39歳」が13.9%と続いており、「30～59歳」で7割程を占めている。

問1 年齢

(単位：%)

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
～19歳	0.9	0.5	0.6	0.4	0.0
20～29歳	12.2	10.3	8.1	5.6	5.0
30～39歳	21.6	26.4	25.3	22.3	13.9
40～49歳	26.7	21.6	22.7	28.3	35.6
50～59歳	20.2	23.0	23.7	19.4	20.8
60～64歳	8.4	8.9	9.6	14.1	8.9
65～69歳	8.7	7.2	5.0	4.5	8.9
70歳以上			3.2	3.7	5.0
不明・無回答	1.2	2.1	1.8	1.9	2.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	663	751	819	269	101



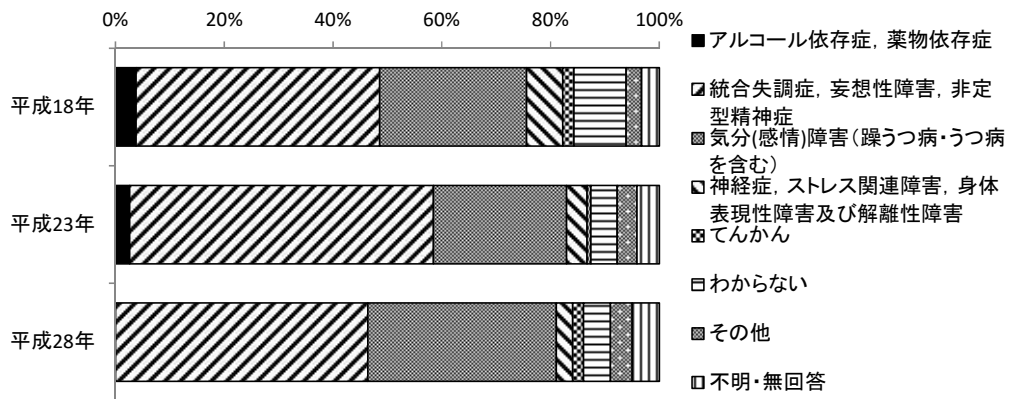
●精神疾患の種類等

精神疾患の種類については、「統合失調症，妄想性障害，非定型精神症」が46.5%で最も多く，次いで「気分（感情）障害（躁うつ病・うつ病を含む）」が34.7%と続いている。

問7 精神疾患の種類

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
アルコール依存症，薬物依存症	3.8	2.6	0.0
統合失調症，妄想性障害，非定型精神症	44.8	55.8	46.5
気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む)	27.0	24.5	34.7
神経症，ストレス関連障害，身体表現性障害及び解離性障害	6.6	3.7	3.0
てんかん	2.1	0.7	2.0
わからない	9.6	4.8	5.0
その他	2.8	3.7	4.0
不明・無回答	3.3	4.1	5.0
合計	100.0	100.0	100.0
n	819	269	101

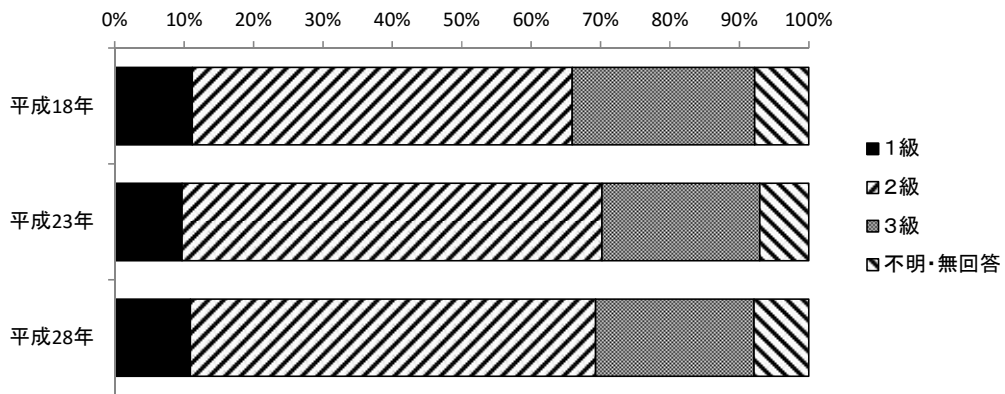


精神障害者保健福祉手帳の等級については、「1級」が10.9%、「2級」が58.4%、「3級」が22.8%となっている。

問8 精神障害者保健福祉手帳の等級

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
1級	11.2	9.7	10.9
2級	54.7	60.6	58.4
3級	26.3	22.7	22.8
不明・無回答	7.8	7.1	7.9
合計	100.0	100.0	100.0
n	819	269	101

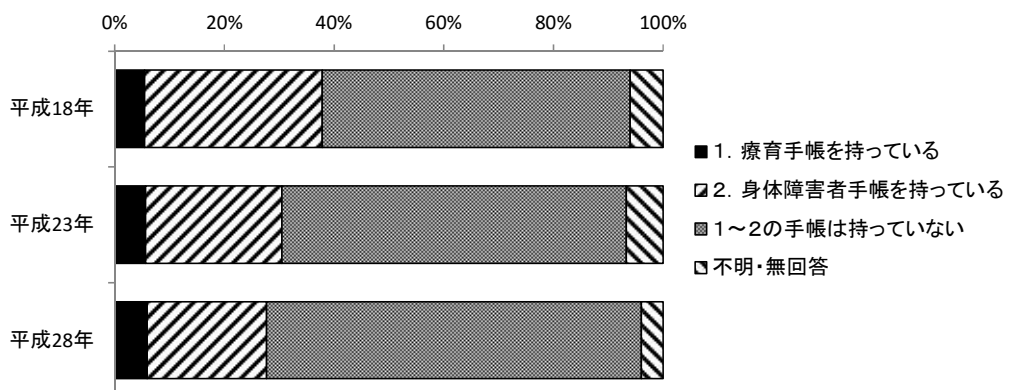


障害者手帳等の有無については、「1～2の手帳は持っていない」が68.3%と最も多く、次いで「身体障害者手帳を持っている」が21.8%、「療育手帳を持っている」が5.9%となっている。

問9 療育手帳・身体障害者手帳の有無

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
1. 療育手帳を持っている	5.5	5.6	5.9
2. 身体障害者手帳を持っている	32.4	24.9	21.8
1～2の手帳は持っていない	56.2	62.8	68.3
不明・無回答	6.0	6.7	4.0
合計	100.0	100.0	100.0
n	819	269	101



●医療費の状況

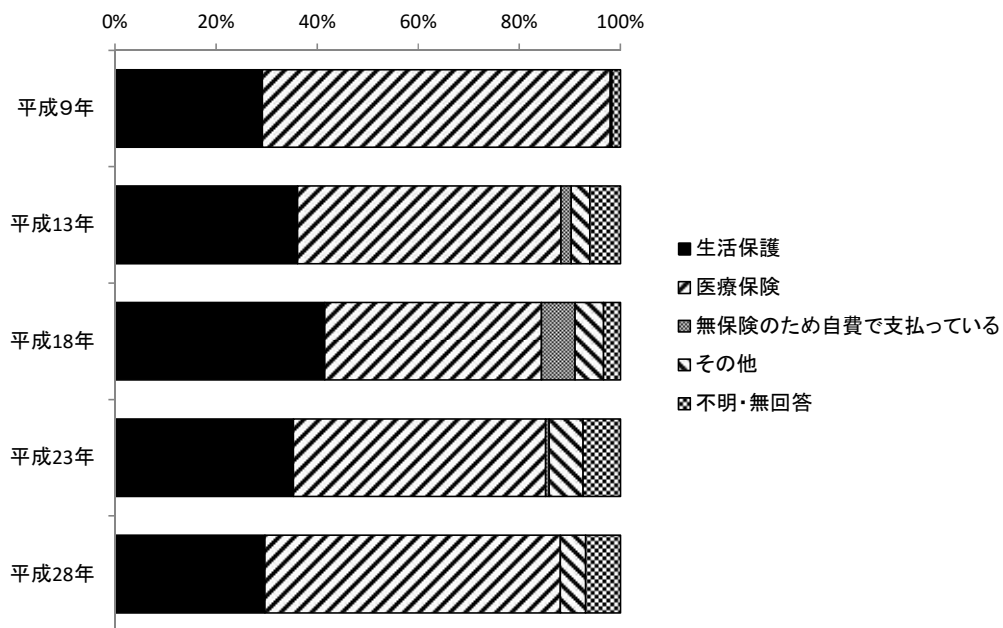
現在の医療費については、「医療保険」が58.4%で最も多く、次いで「生活保護」が29.7%となっている。

問6① 医療費負担の状況 *

(単位：%)

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
生活保護	29.3	36.4	41.5	35.3	29.7
医療保険	69.1	52.5	42.9	49.8	58.4
無保険のため自費で支払っている	0.3	2.1	6.6	0.7	0.0
その他	-	3.7	5.7	6.7	5.0
不明・無回答	1.7	6.1	3.3	7.4	6.9
合計	100.4	100.8	100.0	100.0	100.0
n	663	751	819	269	101

* 平成9年、13年は複数回答

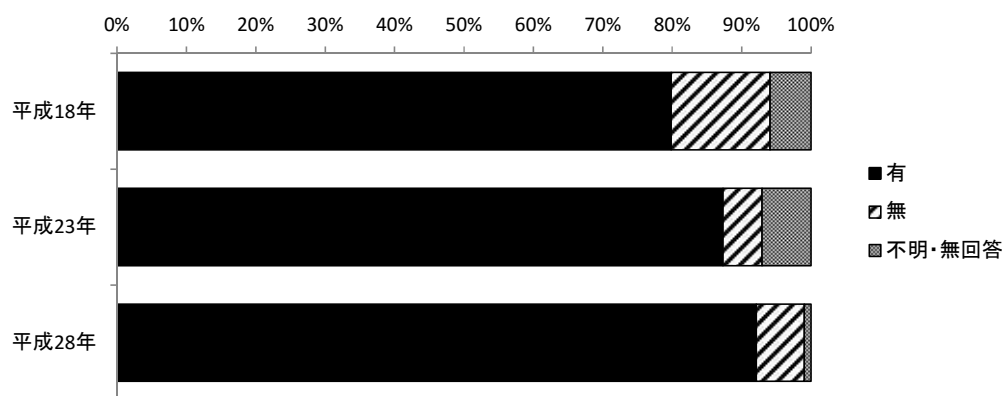


精神通院医療（自立支援医療）の受給の有無については、「有」が92.1%、「無」が6.9%となっている。

問6② 精神通院医療（自立支援医療）の受給の有無

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
有	79.9	87.4	92.1
無	14.3	5.6	6.9
不明・無回答	5.9	7.1	1.0
合計	100.0	100.0	100.0
n	819	269	101



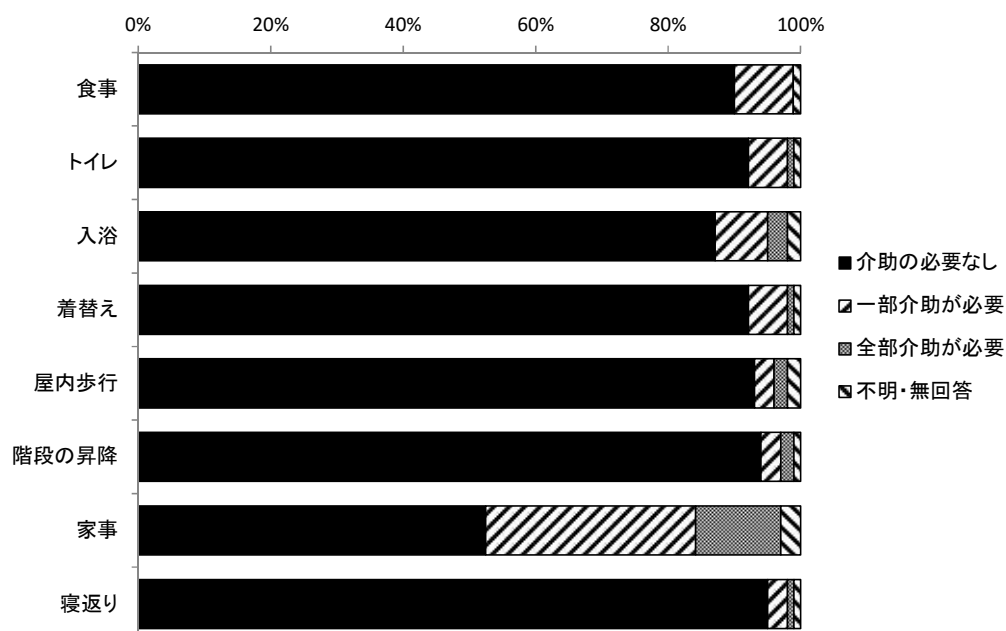
●生活の状況

日常生活動作（IADL）の中で，“何らかの介助が必要”（一部介助が必要＋全部介助が必要）である人の割合が最も高いものは、「家事」で44.6%で最も多く、次いで「入浴」が10.9%となっている。

問 1 2 日常生活動作の状況

（単位：％）

	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		家事		寝返り	
介助の必要なし	90.1		92.1		87.1		92.1		93.1		94.1		52.5		95.0	
一部介助が必要	8.9	8.9	5.9	6.9	7.9	10.9	5.9	6.9	3.0	5.0	3.0	5.0	31.7	44.6	3.0	4.0
全部介助が必要	0.0		1.0		3.0		1.0		2.0		2.0		12.9		1.0	
不明・無回答	1.0		1.0		2.0		1.0		2.0		1.0		3.0		1.0	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
n	101		101		101		101		101		101		101		101	



生活していく上で必要なこと（複数回答）については、「具合が悪くなったら、いつでも診察してくれる病院・診療所」（68.3%）, 「話し相手や相談ができる仲間」（62.4%）, 「親身になって相談にのってくれる職員（精神保健福祉相談員・保健師・精神保健福祉士など）」（59.4%）などである。

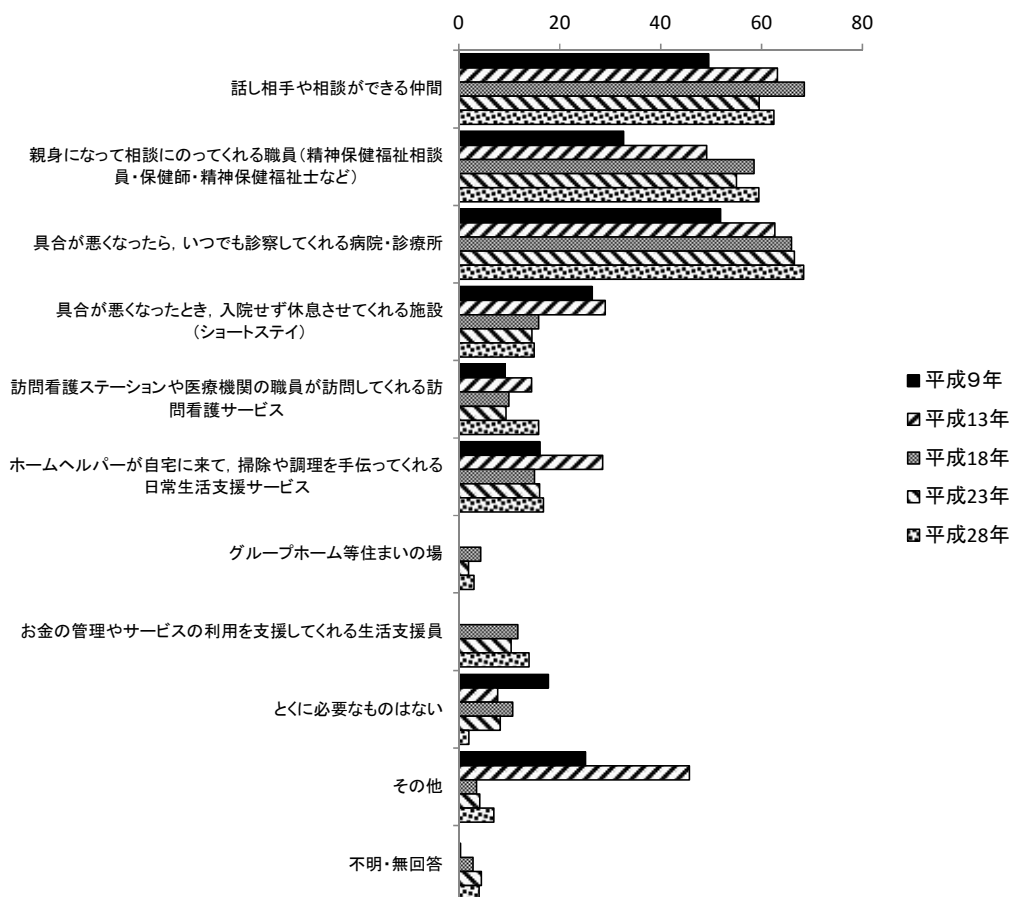
問13 生活していく上で必要なこと（複数回答3つまで）*1

（単位：％）

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
話し相手や相談ができる仲間	49.5	63.1	68.4	59.5	62.4
親身になって相談にのってくれる職員（精神保健福祉相談員・保健師・精神保健福祉士など）	32.7	49.1	58.5	55.0	59.4
具合が悪くなったら、いつでも診察してくれる病院・診療所	51.9	62.6	65.9	66.5	68.3
具合が悪くなったとき、入院せず休息させてくれる施設（ショートステイ）	26.4	29.0	15.8	14.5	14.9
訪問看護ステーションや医療機関の職員が訪問してくれる訪問看護サービス	9.2	14.4	9.9	9.3	15.8
ホームヘルパーが自宅に来て、掃除や調理を手伝ってくれる日常生活支援サービス	16.1	28.5	15.0	16.0	16.8
グループホーム等住まいの場	-	-	4.3	1.9	3.0
お金の管理やサービスの利用を支援してくれる生活支援員	-	-	11.7	10.4	13.9
とくに必要なものはない	17.8	7.7	10.7	8.2	2.0
その他*2	25.1	45.7	3.5	4.1	6.9
不明・無回答	-	0.3	2.8	4.5	4.0
合計	228.7	300.4	266.5	249.9	267.4
n	663	751	819	269	101

*1 平成9年、13年は、あてはまるものをすべて選択

*2 平成9年、13年は「いつでも相談できる電話相談機関」と「自宅へ弁当を配達してくれる食事サービス」を含む



●障害福祉等に関するサービスの利用状況

福祉サービスの利用状況については、ホームヘルプサービス（居宅介護・重度訪問介護）は、「必要がないので利用したことがない」が45.5%と最も多く、次いで「現在、利用している又は利用したことがある」が22.8%、「将来、必要になった時に利用したい」が15.8%などと続いている。

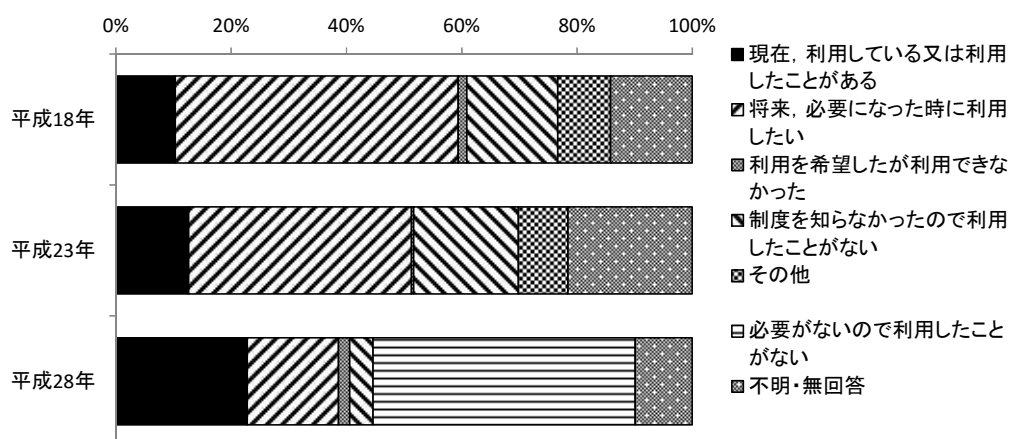
問14（1） ホームヘルプサービス（居宅介護・重度訪問介護）の利用状況

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	10.3	12.6	22.8
将来、必要になった時に利用したい	49.2	38.7	15.8
利用を希望したが利用できなかった	1.5	0.4	2.0
制度を知らなかったので利用したことがない	15.8	18.2	4.0
その他*1	9.2	8.6	-
必要がないので利用したことがない*2	-	-	45.5
不明・無回答	14.2	21.6	9.9
合計	100.0	100.0	100.0
n	819	269	101

*1 平成28年は項目削除

*2 平成28年追加項目

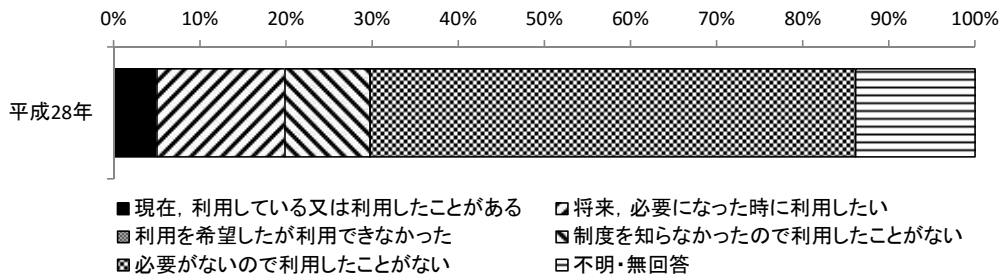


短期入所（ショートステイ）の利用状況については、「必要がないので利用したことがない」が56.4%で最も高く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が14.9%、「制度を知らなかったので利用したことがない」が9.9%となっている。

問14(2) 短期入所（ショートステイ）の利用状況

(単位：%)

	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	5.0
将来、必要になった時に利用したい	14.9
利用を希望したが利用できなかった	0.0
制度を知らなかったので利用したことがない	9.9
必要がないので利用したことがない	56.4
不明・無回答	13.9
合計	100.0
n	101

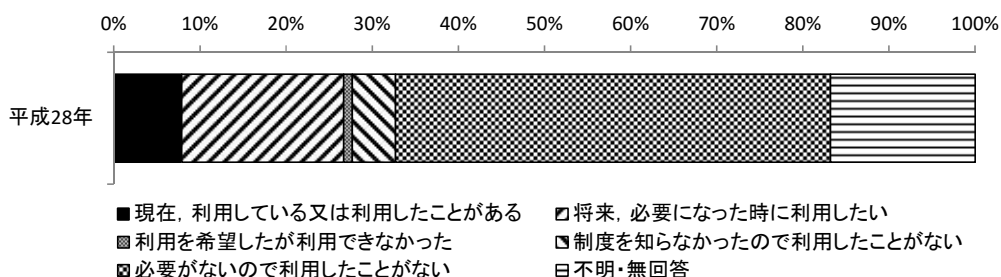


生活介護の利用状況については、「必要がないので利用したことがない」が50.5%で最も高く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が18.8%、「現在、利用している又は利用したことがある」が7.9%となっている。

問14(3) 生活介護の利用状況

(単位：%)

	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	7.9
将来、必要になった時に利用したい	18.8
利用を希望したが利用できなかった	1.0
制度を知らなかったので利用したことがない	5.0
必要がないので利用したことがない	50.5
不明・無回答	16.8
合計	100.0
n	101

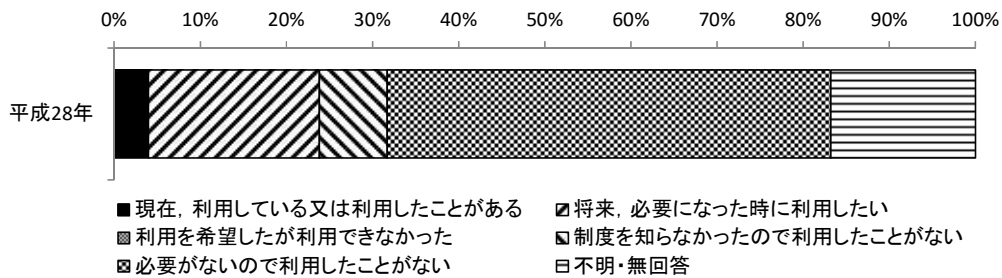


共同生活援助（グループホーム）の利用状況については、「必要がないので利用したことがない」が51.5%で最も高く、次いで「将来、必要になった時に利用したい」が19.8%、「制度を知らなかったので利用したことがない」が7.9%となっている。

問14（10） 共同生活援助（グループホーム）の利用状況

（単位：％）

	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	4.0
将来、必要になった時に利用したい	19.8
利用を希望したが利用できなかった	0.0
制度を知らなかったので利用したことがない	7.9
必要がないので利用したことがない	51.5
不明・無回答	16.8
合計	100.0
n	101

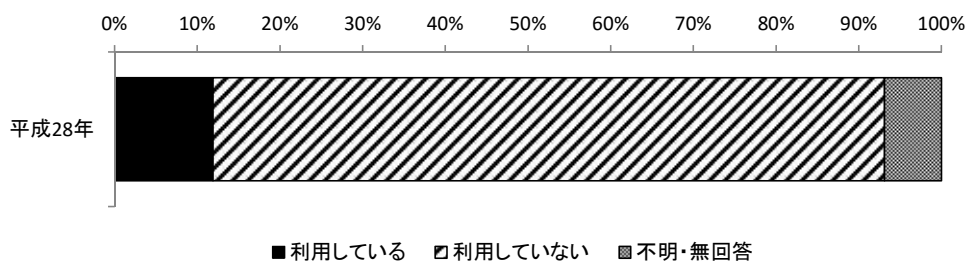


介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が11.9%、「利用していない」が81.2%となっている。

問16 介護保険サービスの利用の有無

（単位：％）

	平成28年
利用している	11.9
利用していない	81.2
不明・無回答	6.9
合計	100.0
n	101

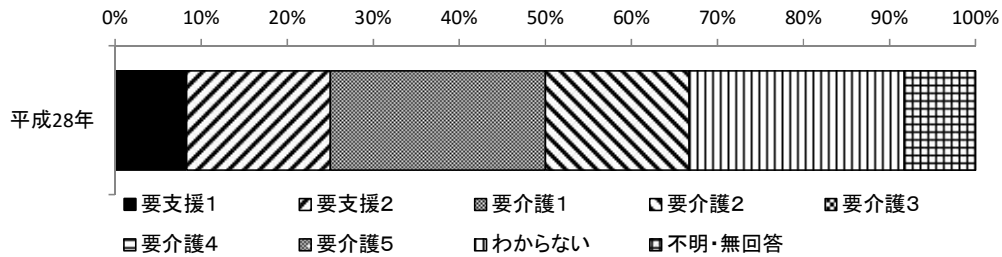


要介護認定区分は、「要介護1」と「わからない」が25.0%で最も多く、次いで「要支援2」と「要介護2」が16.7%、「要支援1」が8.3%となっている。

問17-1 要介護認定区分

(単位：%)

	平成28年
要支援1	8.3
要支援2	16.7
要介護1	25.0
要介護2	16.7
要介護3	0.0
要介護4	0.0
要介護5	0.0
わからない	25.0
不明・無回答	8.3
合計	100.0
n	12

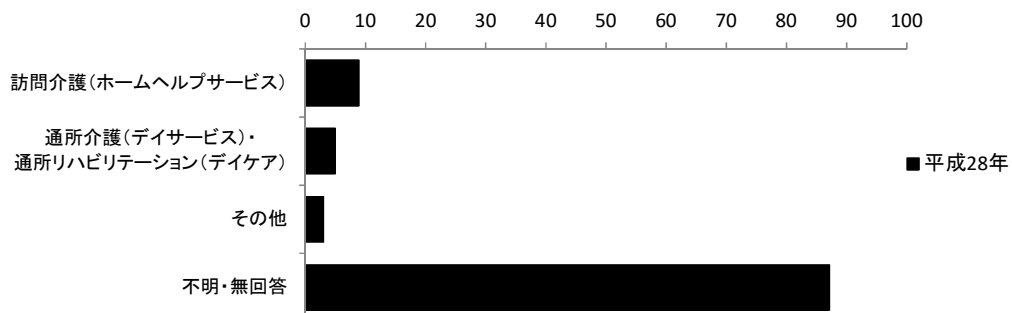


利用している介護保険サービスについては、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が8.9%で最も多く、次いで「通所介護（デイサービス）・通所リハビリテーション（デイケア）」が5.0%、「その他」が3.0%となっている。

問18 利用している介護保険サービス（複数回答）

(単位：%)

	平成28年
訪問介護（ホームヘルプサービス）	8.9
通所介護（デイサービス）・通所リハビリテーション（デイケア）	5.0
その他	3.0
不明・無回答	87.1
合計	104.0
n	101



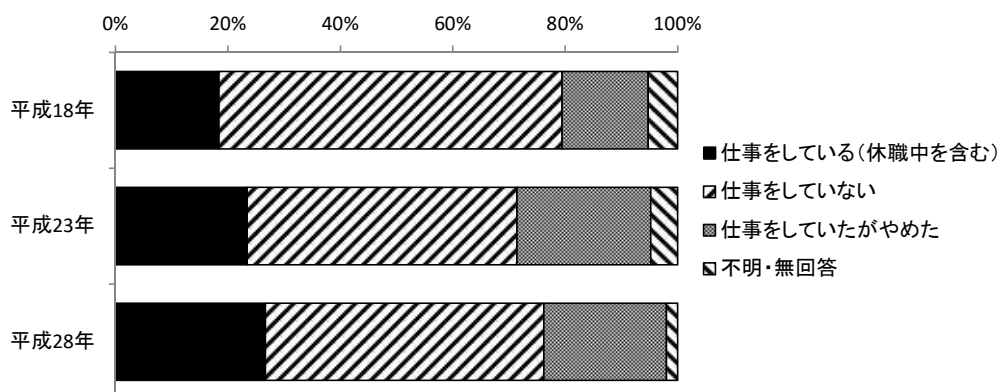
●就労（仕事）・収入の状況

就労状況については、「仕事をしている（休職中を含む）」が26.7%、「仕事をしていない」と「仕事をしていたがやめた」を合わせると71.3%となっている。

問 2 2 就労状況

(単位：%)

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
仕事をしている（休職中を含む）	18.4	23.4	26.7
仕事をしていない	61.1	48.0	49.5
仕事をしていたがやめた	15.3	23.8	21.8
不明・無回答	5.3	4.8	2.0
合計	100.0	100.0	100.0
n	819	269	101



就労形態は、「パート・アルバイト」が44.4%で最も多く、次いで、「就労移行（継続）支援事業所、授産施設、共同作業所など」が22.2%「常勤」が11.1%などと続いている。

問 2 3 - 3 就労形態

(単位：%)

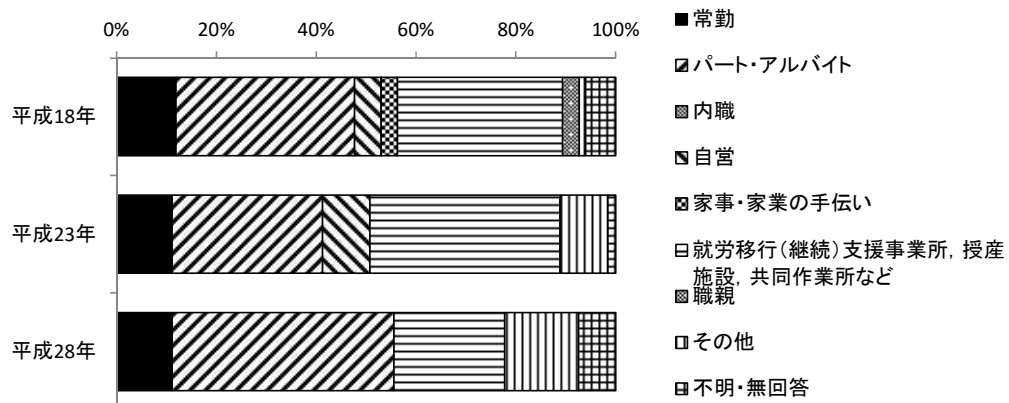
	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
常勤	11.9	11.1	11.1
パート・アルバイト	35.8	30.2	44.4
内職 * 1	-	0.0	0.0
自営	5.3	9.5	0.0
家事・家業の手伝い * 2	3.3	-	-
就労移行（継続）支援事業所 * 3	33.1	38.1	22.2
職親 * 2	3.3	-	-
その他	1.3	9.5	14.8
不明・無回答	6.0	1.6	7.4
合計	100.0	100.0	100.0
n	151	63	27

* 1 平成23年追加項目

* 2 平成23年削除項目

* 3 平成 18 年は「通所授産施設・共同作業所など」

平成 23 年は「就労移行（継続）支援事業所、授産施設、共同作業所など」

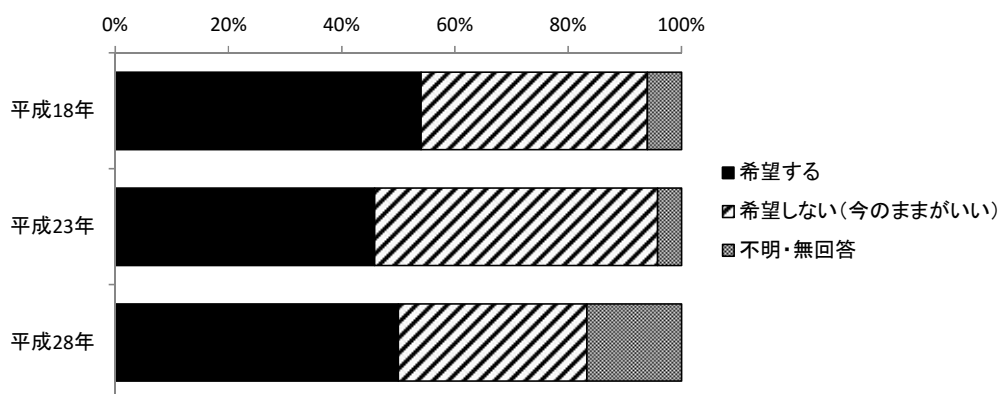


「就労移行（継続）支援事業所」で働く人のうち50.0%が、今後、企業での就労を希望している。

問 2 3 - 4 - 1 企業での就労希望の有無

(単位：%)

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
希望する	54.0	45.8	50.0
希望しない(今のままだいい)	40.0	50.0	33.3
不明・無回答	6.0	4.2	16.7
合計	100.0	100.0	100.0
n	50	24	6



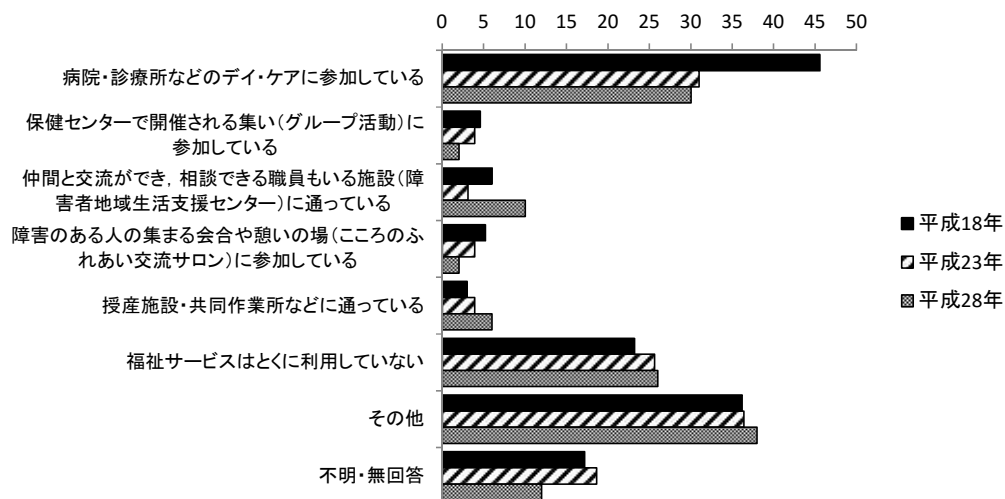
「仕事をしていない」人、「仕事をしていたがやめた」人の日中の過ごし方（複数回答）としては、いずれも「病院・診療所などのデイ・ケアに参加している」が3割以上で多くなっている。

問24-3 「仕事をしていない」人の日中の過ごし方（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
病院・診療所などのデイ・ケアに参加している	45.6	31.0	30.0
保健センターで開催される集い（グループ活動）に参加している	4.6	3.9	2.0
仲間と交流ができ、相談できる職員もいる施設（障害者地域生活支援センター）に通っている	6.0	3.1	10.0
障害のある人の集まる会合や憩いの場（こころのふれあい交流サロン）に参加している	5.2	3.9	2.0
就労移行（継続）支援事業所に通っている *1	3.0	3.9	6.0
福祉サービスはとくに利用していない	23.2	25.6	26.0
その他	36.2	36.4	38.0
不明・無回答	17.2	18.6	12.0
合計	141.0	126.4	126.0
n	500	129	50

*1 平成18年・平成23年は「授産施設・共同作業所などに通っている」

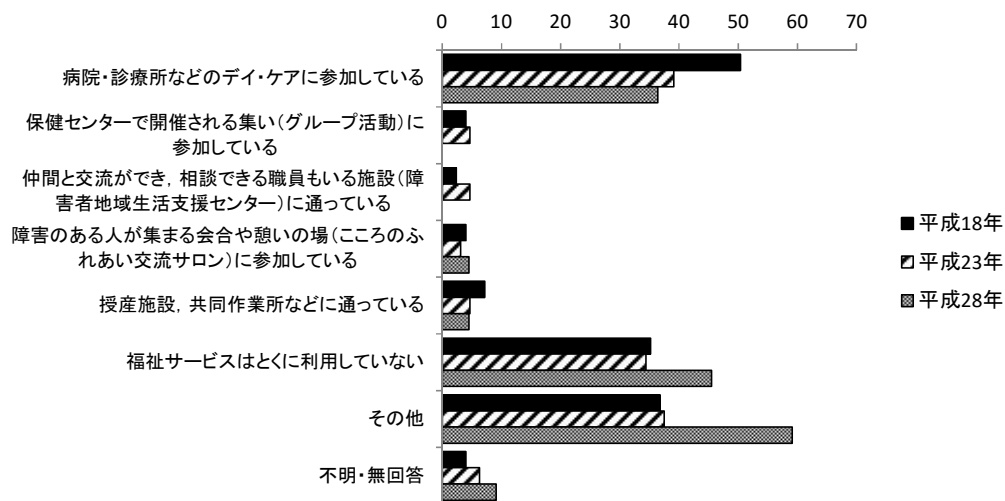


問25-2 「仕事をしていたがやめた」人の日中の過ごし方（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
病院・診療所などのデイ・ケアに参加している	50.4	39.1	36.4
保健センターで開催される集い（グループ活動）に参加している	4.0	4.7	0.0
仲間と交流ができ、相談できる職員もいる施設（障害者地域生活支援センター）に通っている	2.4	4.7	0.0
障害のある人が集まる会合や憩いの場（こころのふれあい交流サロン）に参加している	4.0	3.1	4.5
就労移行（継続）支援事業所に通っている*1	7.2	4.7	4.5
福祉サービスはとくに利用していない	35.2	34.4	45.5
その他	36.8	37.5	59.1
不明・無回答	4.0	6.3	9.1
合計	144.0	134.5	159.1
n	125	64	22

*1 平成18年・平成23は「授産施設・共同作業所などに通っている」

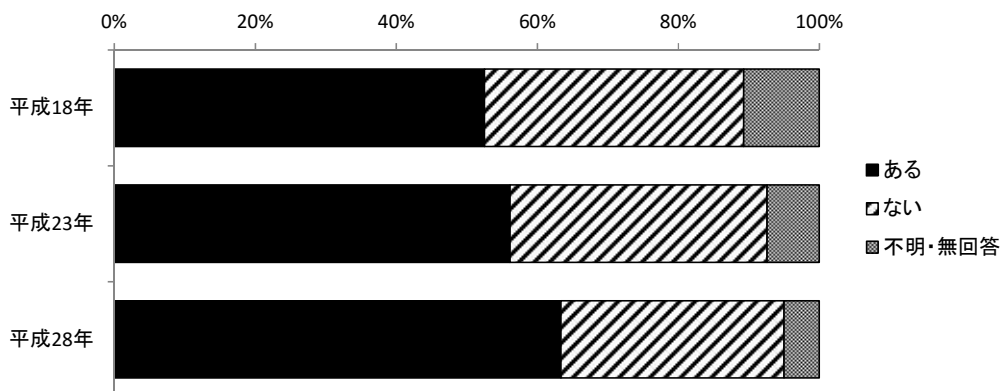


収入の有無では、「ある」が63.4%、「ない」が31.7%となっている。

問26 収入の有無

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
ある	52.5	56.1	63.4
ない	36.8	36.4	31.7
不明・無回答	10.7	7.4	5.0
合計	100.0	100.0	100.0
n	819	269	101

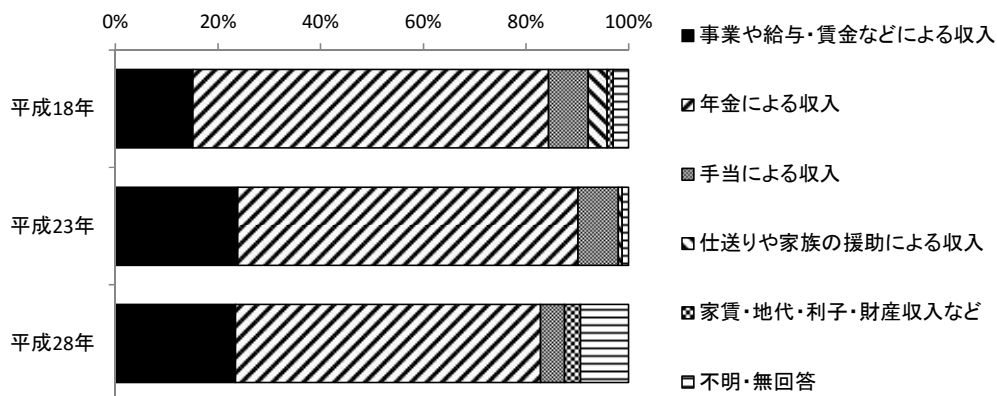


収入の種類では、「年金による収入」が最も多く59.4%と約6割を占め、次いで「事業や給与・賃金などによる収入」が23.4%と続いている。他の収入については10.0%未満となっている。

問27-1 収入の種類

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
事業や給与・賃金などによる収入	15.1	23.8	23.4
年金による収入	69.3	66.2	59.4
手当による収入	7.7	7.9	4.7
仕送りや家族の援助による収入	3.7	0.7	0.0
家賃・地代・利子・財産収入など	1.2	0.0	3.1
不明・無回答	3.0	1.3	9.4
合計	100.0	100.0	100.0
n	430	151	64

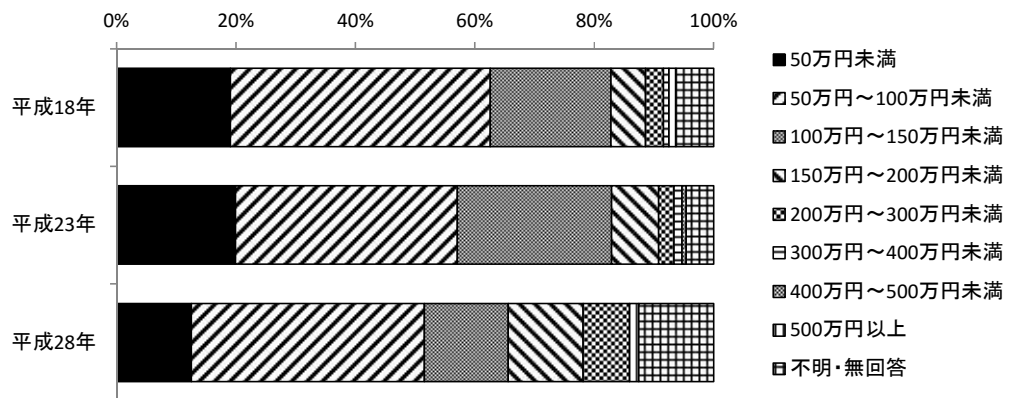


収入の額では、「50万円～100万円未満」が39.1%、「100万円～150万円未満」が14.1%、「50万円未満」「150万円～200万円未満」が共に12.5%と続いている。年収が“100万円未満”の人は51.6%と全体の約5割を占めている。

問 2 7 - 2 収入額

(単位：%)

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
50 万円未満	19.1	19.9	12.5
50 万円～100 万円未満	43.5	37.1	39.1
100 万円～150 万円未満	20.2	25.8	14.1
150 万円～200 万円未満	5.8	7.9	12.5
200 万円～300 万円未満	3.0	2.6	7.8
300 万円～400 万円未満	0.9	1.3	0.0
400 万円～500 万円未満	0.0	0.7	0.0
500 万円以上	1.2	0.0	1.6
不明・無回答	6.3	4.6	12.5
合計	100.0	100.0	100.0
n	430	151	64



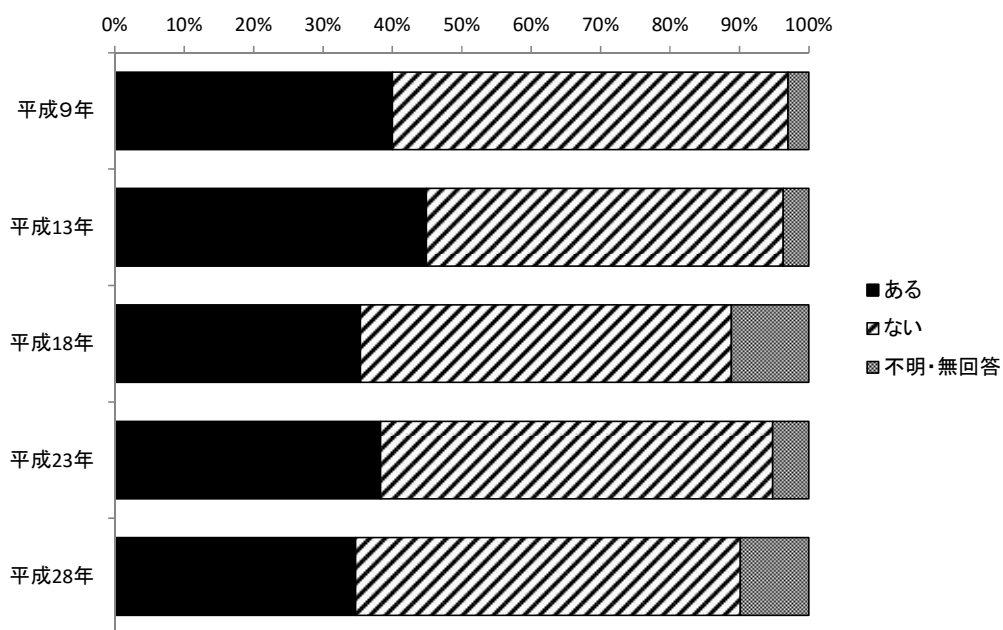
●健康・医療などの状況

精神疾患に伴う夜間、休日における診療を希望したことが「ある」は34.7%となっている。

問3 2 精神疾患に伴う夜間、休日における診療希望の有無

(単位：%)

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
ある	40.0	44.9	35.4	38.3	34.7
ない	57.0	51.4	53.4	56.5	55.4
不明・無回答	3.0	3.7	11.2	5.2	9.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	663	751	819	269	101



その際の対処（複数回答）としては、「とんぶく薬をのんでがまんした」が45.7%で最も多く、次いで「病院や診療所が開くまでがまんした」が34.3%、「友達や家族に電話した」と「その他」が共に28.6%と続いている。

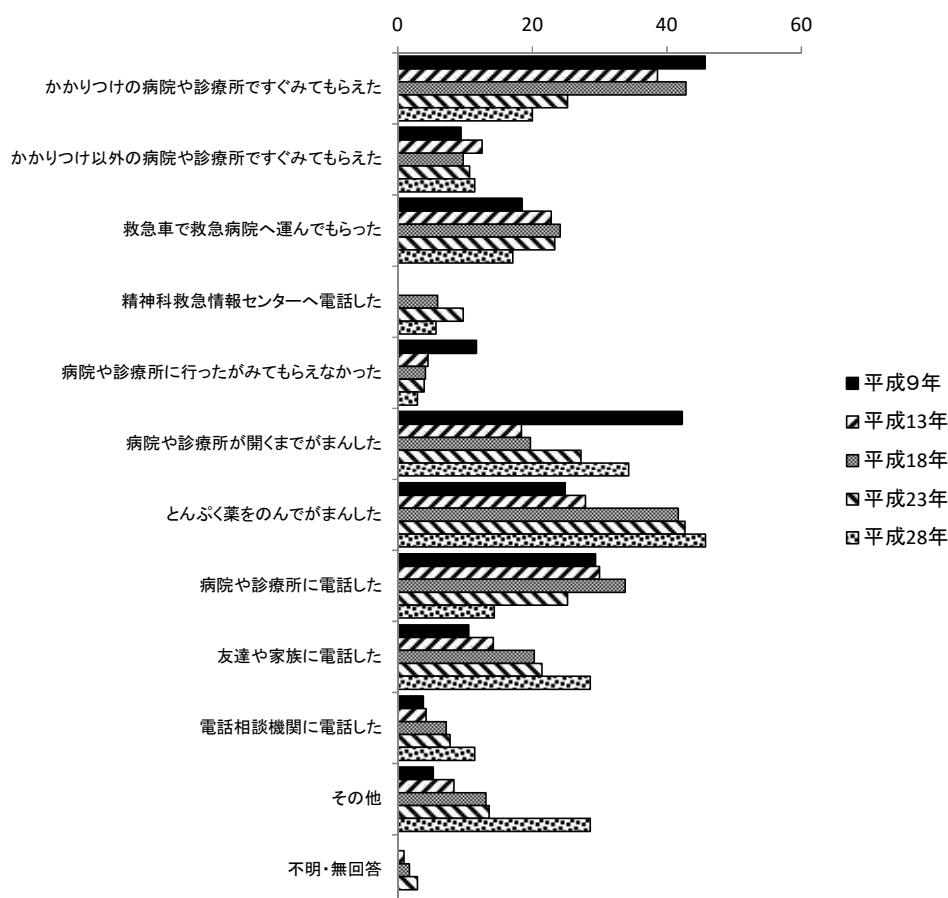
問33-1 夜間、休日に診療を受けたくなくなった際の対処（複数回答3つまで）*1

（単位：％）

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
かかりつけの病院や診療所ですぐみてもらえた	45.7	38.6	42.8	25.2	20.0
かかりつけ以外の病院や診療所ですぐみてもらえた	9.4	12.5	9.7	10.7	11.4
救急車で救急病院へ運んでもらった	18.5	22.8	24.1	23.3	17.1
精神科救急情報センターへ電話した *2	-	-	5.9	9.7	5.7
病院や診療所に行ったがみてもらえなかった	11.7	4.5	4.1	3.9	2.9
病院や診療所が開くまでがまんした	42.3	18.4	19.7	27.2	34.3
とんぶく薬をのんでがまんした	24.9	27.9	41.7	42.7	45.7
病院や診療所に電話した	29.4	30.0	33.8	25.2	14.3
友達や家族に電話した	10.6	14.2	20.3	21.4	28.6
電話相談機関に電話した	3.8	4.2	7.2	7.8	11.4
その他	5.3	8.3	13.1	13.6	28.6
不明・無回答	0.0	0.9	1.7	2.9	0.0
合計	201.6	182.3	224.1	213.6	220.0
n	265	337	290	103	35

*1 平成9年、13年は、あてはまるものをすべて選択

*2 平成18年以降追加項目

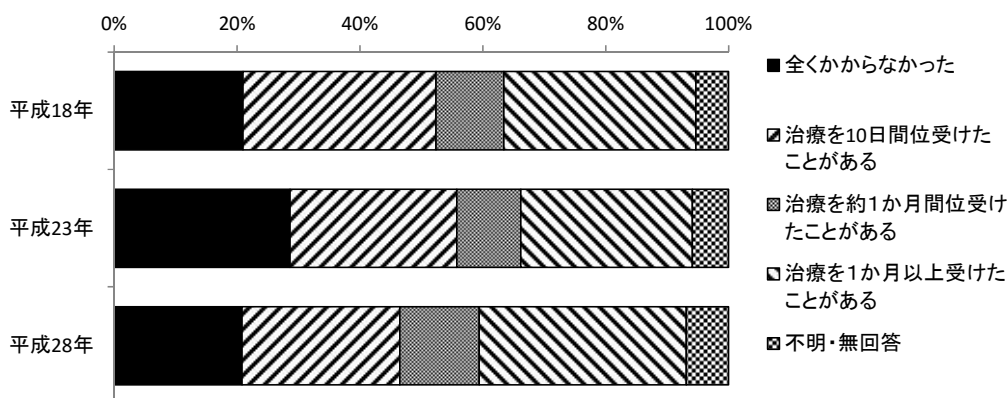


精神疾患を除く過去1年間の治療の状況については、「治療を1か月以上受けたことがある」が33.7%で最も多く、次いで「治療を10日間位受けたことがある」が25.7%、「全くかからなかった」が20.8%、「治療を約1か月間位受けたことがある」が12.9%となっている。何らかの“治療を受けた”人は72.3%と全体の約7割を占め、治療を全く受けていない人は全体の約2割となっている。

問29 過去1年間の治療の状況

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
全くかからなかった	21.0	28.6	20.8
治療を10日間位受けたことがある	31.4	27.1	25.7
治療を約1か月間位受けたことがある	11.1	10.4	12.9
治療を1か月以上受けたことがある	31.3	27.9	33.7
不明・無回答	5.3	5.9	6.9
合計	100.0	100.0	100.0
n	819	269	101



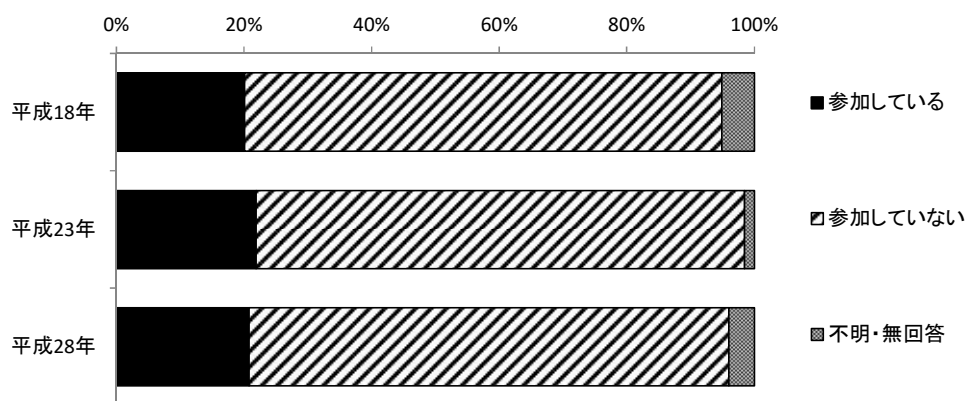
●社会参加の状況

スポーツや文化活動などの社会活動に「参加している」人は20.8%、「参加していない」人は75.2%となっており、社会参加している人の比率は約2割となっている。

問34 スポーツや文化活動など社会活動参加の状況

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
参加している	20.1	21.9	20.8
参加していない	74.7	76.6	75.2
不明・無回答	5.1	1.5	4.0
合計	100.0	100.0	100.0
n	819	269	101

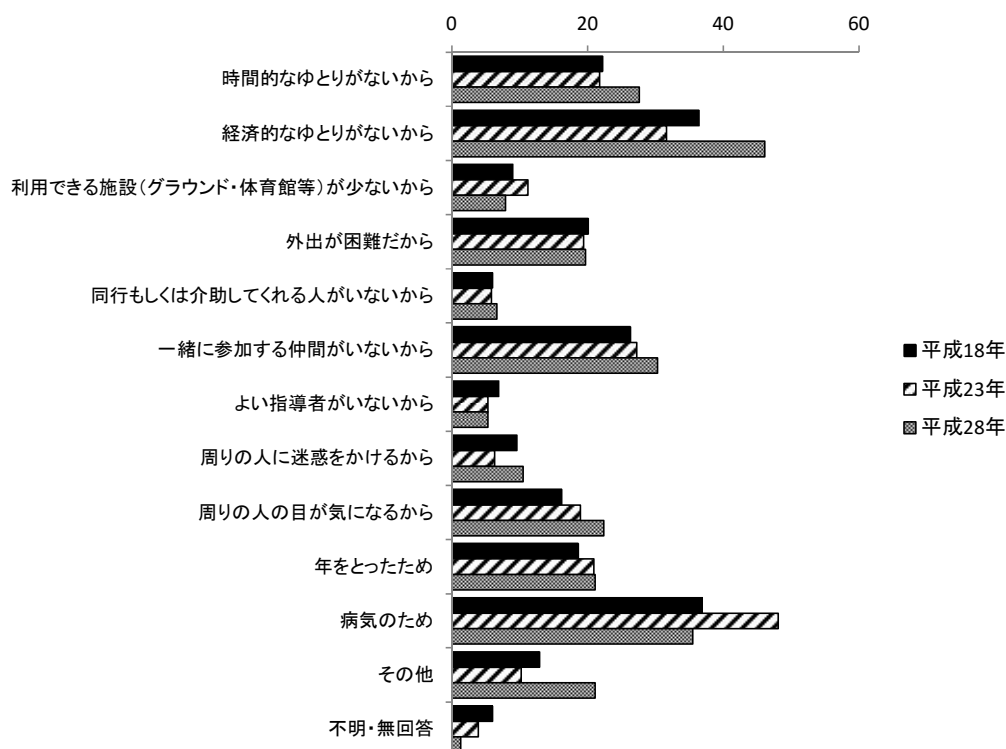


参加していない理由（複数回答）については、「経済的なゆとりがないから」が46.1%で最も多く、次いで「病気のため」が35.5%、「一緒に参加する仲間がないから」が30.3%、「時間的なゆとりがないから」が27.6%などと続いている。

問36-1 社会活動に参加していない理由（複数回答3つまで）

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
時間的なゆとりがないから	22.2	21.8	27.6
経済的なゆとりがないから	36.4	31.6	46.1
利用できる施設（グラウンド・体育館等）が少ないから	9.0	11.2	7.9
外出が困難だから	20.1	19.4	19.7
同行もしくは介助してくれる人がいないから	6.0	5.8	6.6
一緒に参加する仲間がないから	26.3	27.2	30.3
よい指導者がいないから	6.9	5.3	5.3
周りの人に迷惑をかけるから	9.6	6.3	10.5
周りの人の目が気になるから	16.2	18.9	22.4
年をとったため	18.6	20.9	21.1
病気のため	36.9	48.1	35.5
その他	12.9	10.2	21.1
不明・無回答	6.0	3.9	1.3
合計	227.1	230.6	255.4
n	612	206	76



●災害時の対応

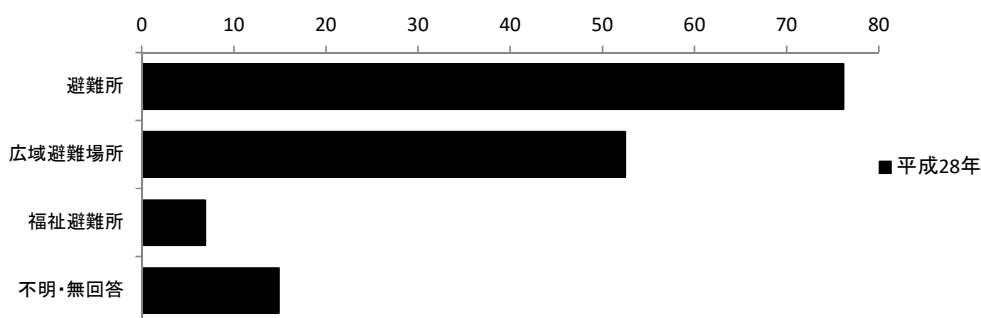
避難場所の認知（複数回答）について、「避難所」が76.2%、「広域避難場所」が52.5%、「福祉避難所」が6.9%となっている。

問37 避難場所の認知（複数回答）*

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
「一時避難場所」と「広域避難場所」の両方を知っている	20.4	19.7	-
「一時避難場所」だけ知っている	10.4	13.4	-
「広域避難場所」だけ知っている	12.0	9.7	-
両方とも知らない	53.7	53.9	-
避難所	-	-	76.2
広域避難場所	-	-	52.5
福祉避難所	-	-	6.9
不明・無回答	3.5	3.3	14.9
合計	100.0	100.0	150.5
n	819	269	101

* 平成23年までは単数回答

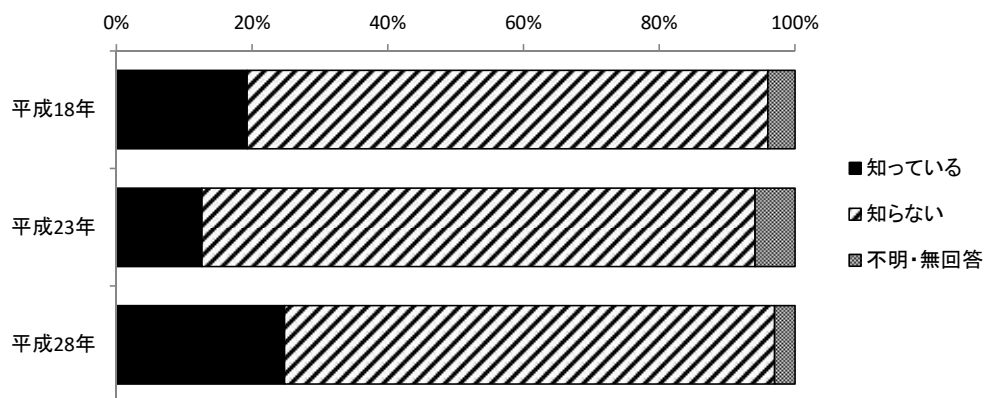


自主防災組織の認知については、「知っている」は24.8%、「知らない」が72.3%となっている。

問39 自主防災組織の認知

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
知っている	19.3	12.6	24.8
知らない	76.7	81.4	72.3
不明・無回答	4.0	5.9	3.0
合計	100.0	100.0	100.0
n	819	269	101

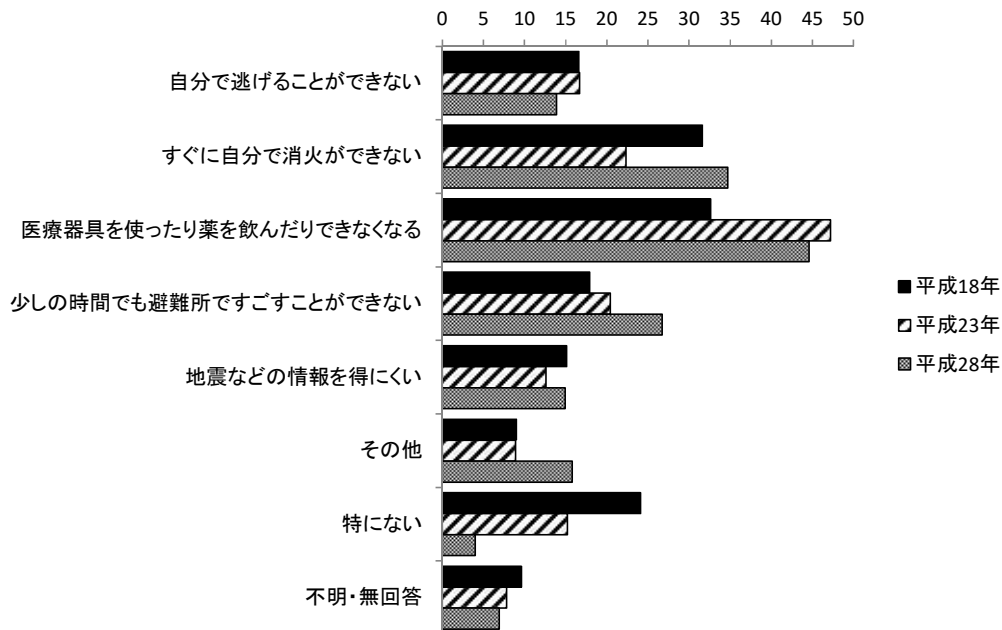


災害時の不安（複数回答）については、「医療器具を使ったり薬を飲んだりできなくなる」が44.6%で最も多く、次いで「すぐに自分で消火ができない」が34.7%、「少しの時間でも避難所ですぐすことができない」が26.7%「地震などの情報を得にくい」が14.9%などと続いている。

問43 災害時の不安（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
自分で逃げるができない	16.6	16.7	13.9
すぐに自分で消火ができない	31.6	22.3	34.7
医療器具を使ったり薬を飲んだりできなくなる	32.6	47.2	44.6
少しの時間でも避難所ですぐすことができない	17.9	20.4	26.7
地震などの情報を得にくい	15.1	12.6	14.9
その他	9.0	8.9	15.8
特にない	24.1	15.2	4.0
不明・無回答	9.6	7.8	6.9
合計	156.5	151.1	161.5
n	819	269	101



●福祉施策への要望など

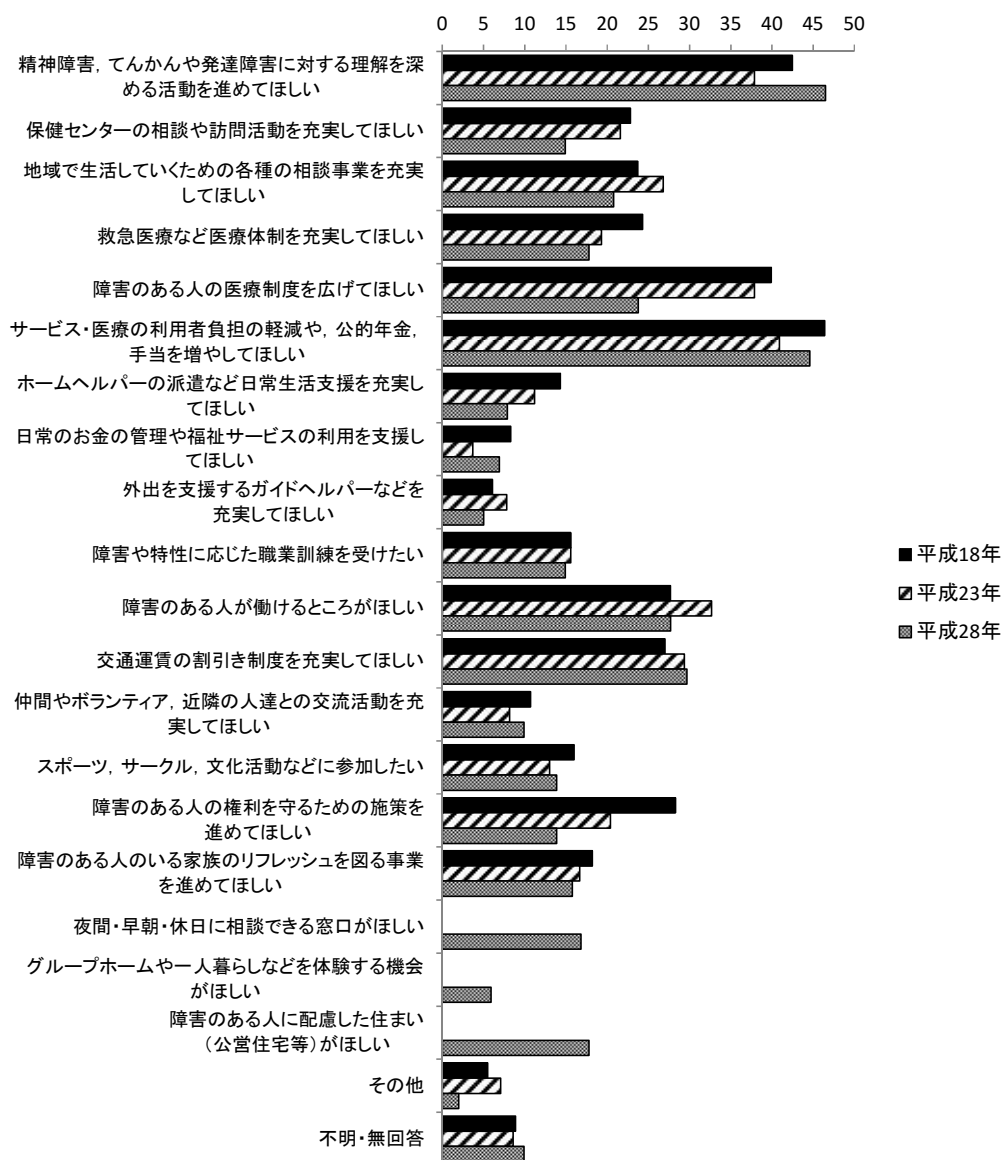
福祉施策への要望（複数回答）については、「精神障害、てんかんや発達障害に対する理解を深める活動を進めてほしい」が46.5%で最も多く、次いで「サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当を増やしてほしい」が44.6%、「交通運賃の割引制度を充実してほしい」が29.7%などとなっており、病気への社会的理解の促進や、医療費負担の軽減などの経済的支援ニーズなどへの期待が強く表れている。

問5 1 福祉施策への要望（複数回答5つまで）

（単位：％）

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
精神障害、てんかんや発達障害に対する理解を深める活動を進めてほしい	42.5	37.9	46.5
保健センターの相談や訪問活動を充実してほしい	22.8	21.6	14.9
地域で生活していくための各種の相談事業を充実してほしい	23.7	26.8	20.8
救急医療など医療体制を充実してほしい	24.3	19.3	17.8
障害のある人の医療制度を広げてほしい	39.9	37.9	23.8
サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当を増やしてほしい	46.4	40.9	44.6
ホームヘルパーの派遣など日常生活支援を充実してほしい	14.3	11.2	7.9
日常のお金の管理や福祉サービスの利用を支援してほしい	8.3	3.7	6.9
外出を支援するガイドヘルパーなどを充実してほしい	6.1	7.8	5.0
障害や特性に応じた職業訓練を受けたい	15.6	15.6	14.9
障害のある人が働けるところがほしい	27.7	32.7	27.7
交通運賃の割引制度を充実してほしい	27.0	29.4	29.7
仲間やボランティア、近隣の人達との交流活動を充実してほしい	10.7	8.2	9.9
スポーツ、サークル、文化活動などに参加したい	16.0	13.0	13.9
障害のある人の権利を守るための施策を進めてほしい	28.3	20.4	13.9
障害のある人のいる家族のリフレッシュを図る事業を進めてほしい	18.2	16.7	15.8
夜間・早朝・休日に相談できる窓口がほしい*	-	-	16.8
グループホームや一人暮らしなどを体験する機会がほしい*	-	-	5.9
障害のある人に配慮した住まい（公営住宅等）がほしい*	-	-	17.8
その他	5.5	7.1	2.0
不明・無回答	8.9	8.6	9.9
合計	386.2	358.8	366.4
n	819	269	101

*平成28年追加項目



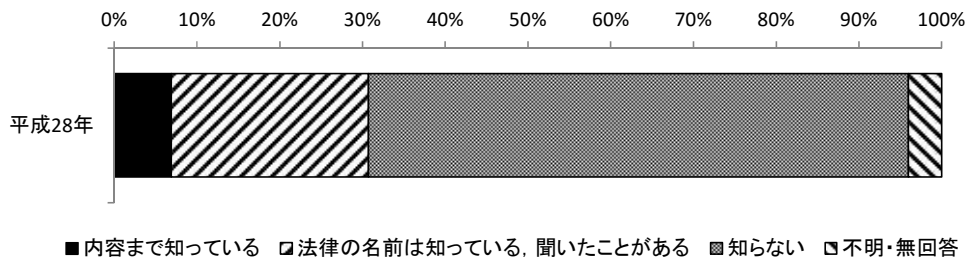
●障害者差別解消法の認知

障害者差別解消法の認知については、「知らない」が65.3%で最も多く、次いで「法律の名前は知っている、聞いたことがある」が23.8%、「内容まで知っている」が6.9%となっている。

問5 2 障害者差別解消法の認知

(単位：%)

	平成28年
内容まで知っている	6.9
法律の名前は知っている、聞いたことがある	23.8
知らない	65.3
不明・無回答	4.0
合計	100.0
n	101



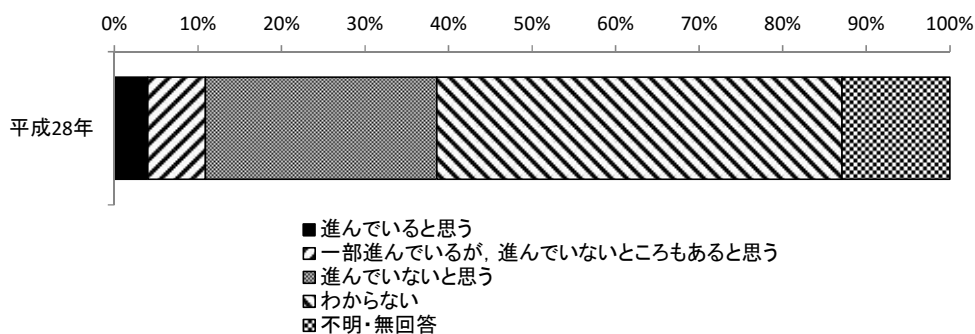
● 「支えあうまち・京都ほほえみプラン」の進捗状況

お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発については、「わからない」が48.5%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が27.7%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が6.9%、「進んでいると思う」が4.0%となっている。

問53-1 お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	4.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	6.9
進んでいないと思う	27.7
わからない	48.5
不明・無回答	12.9
合計	100.0
n	101

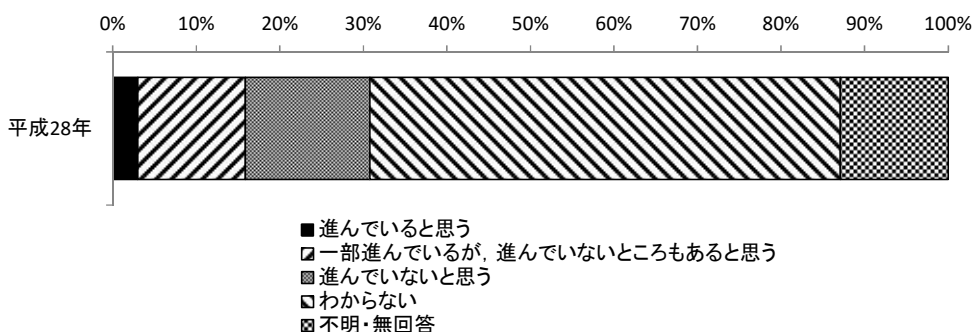


障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくりについては、「わからない」が56.4%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が14.9%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が12.9%、「進んでいると思う」が3.0%となっている。

問53-2 障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	12.9
進んでいないと思う	14.9
わからない	56.4
不明・無回答	12.9
合計	100.0
n	101

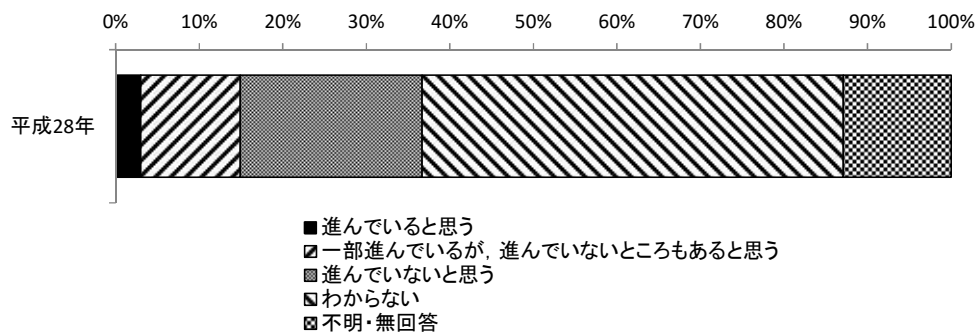


多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくりについては、「わからない」が50.5%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が21.8%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が11.9%、「進んでいると思う」が3.0%となっている。

問53-3 多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	3.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	11.9
進んでいないと思う	21.8
わからない	50.5
不明・無回答	12.9
合計	100.0
n	101

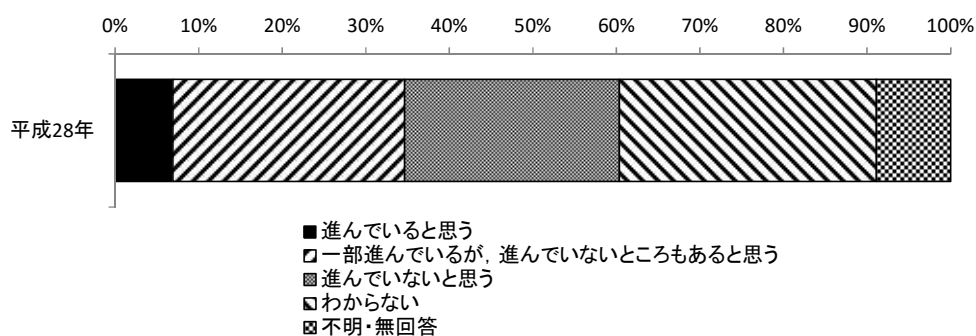


精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくりについては、「わからない」が30.7%で最も多く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が27.7%、「進んでいないと思う」が25.7%、「進んでいると思う」が6.9%となっている。

問53-4 精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	6.9
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	27.7
進んでいないと思う	25.7
わからない	30.7
不明・無回答	8.9
合計	100.0
n	101

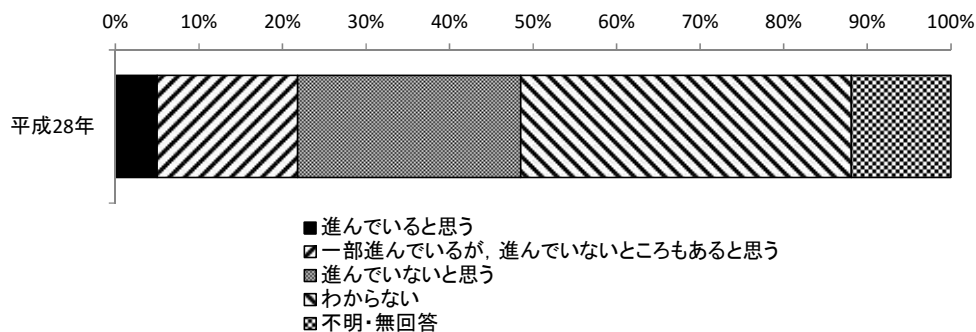


一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築については、「わからない」が39.6%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が26.7%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が16.8%、「進んでいると思う」が5.0%となっている。

問53-5 一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	5.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	16.8
進んでいないと思う	26.7
わからない	39.6
不明・無回答	11.9
合計	100.0
n	101



人にやさしく安心・安全なまちづくりについては、「進んでいないと思う」が38.6%で最も多く、次いで「わからない」が31.7%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が13.9%、「進んでいると思う」が5.0%となっている。

問53-6 人にやさしく安心・安全なまちづくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	5.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	13.9
進んでいないと思う	38.6
わからない	31.7
不明・無回答	10.9
合計	100.0
n	101

